

熊本市食の安全安心・食育推進計画  
進捗管理資料(部会資料)

「食の安全安心の確保」については、第4次推進計画に掲げている以下①～③の3つの目標に基づき、様々な事業を展開した。

- ① 生産から消費に至るまでの食品衛生の確保
- ② 食品の安全性確保のための体制整備
- ③ 食の安全に関する情報の共有と相互理解の推進

#### 令和6年度（2024年度）の取組

##### ① 生産から消費に至るまでの食品衛生の確保（4～10頁）

生産・製造から流通、販売における食品等関係事業者への監視指導の実施や、食品の安全性を確認するために取去検査を行い、違反・不適な食品があれば指導を行うことで安全安心な食品の流通に努めた。あわせて、食品事故が増加しやすい夏期・年末に、食品や添加物等の一斉取り締まりを行い、監視指導を強化した。

また、本市では大規模な食中毒（患者50名以上）や重大な違反事例はなかったものの、カンピロバクターやアニサキス等を原因とする食中毒が6件（令和6年次）発生したため、事業者や市民に対して、市政だよりやマスメディアにより食中毒予防啓発を実施した。

令和6年度から開始した「HACCPで守る食の安全宣言事業」では、事業者が安全な食を提供するためにHACCPに沿った衛生管理を行い、実施が確認できた事業者にはステッカーを交付した。あわせて、市民が安心して事業者を選定できるよう、事業者名を熊本市のホームページに掲載した。

##### ② 食品の安全性確保のための体制整備（11～12頁）

食品流通システムの発達等により広域化している食中毒事案等に対処できるよう、国や県・他市町村、食品関連団体等との連携強化に努めた。

オンラインや派遣研修への参加や庁内研修の実施により、関係機関の連携と職員の資質向上に努めた。

##### ③ 食の安全に関する情報の共有と相互理解の推進（13～17頁）

健康くまもと21推進会議及び食の安全安心・食育部会を通じて関係団体や市民から寄せられた意見を可能な限り施策に反映させた。

また、市民等からの食に関する相談に対応し、食の安全安心の確保、特に安心感の提供に努めた。食品の検査結果等食の安全安心に関する情報についてはホームページ等を活用して積極的な発信に努めた。

#### 令和7年度（2025年度）の重点的に行う取組

・すべての食品等事業者（食品の製造・加工、調理、販売等）に義務化されたHACCPに沿った衛生管理について、食品事業者の規模、事業内容に合わせた導入支援や助言を行うとともに、市民への広報に努める。

・「HACCPで守る食の安全宣言事業」について、安全宣言届出件数の増加をはかり、市民が安心して飲食店等を選択できるよう、努める。

・近年発生件数が多いカンピロバクターやアニサキスを原因とする食中毒や、患者数の多いノロウイルス食中毒の予防に関する情報を、事業者・市民に提供し、食中毒対策の強化を継続する。

熊本市における食中毒発生状況(令和6年(2024年))

No.	発生日月	原因施設	摂食者数	患者数	死亡者数	原因食品	病因物質	処分内容
1	令和6年2月4日	飲食店	5	5	0	不明(2/3飲食店提供食)	カンピロバクター・ジエジニ	営業停止 (3日間)
2	令和6年3月29日	飲食店	1	1	0	アジの握り寿司	アニサキス	書面指導
3	令和6年4月20日	飲食店	17	8	0	ヒラメの刺身	クトア・セプトンブクタータ	口頭指導
4	令和6年5月27日	飲食店	2	2	0	不明(5/25飲食店提供食)	カンピロバクター・ジエジニ/コリ	営業停止 (2日間)
5	令和6年6月21日	飲食店	64	23	0	不明 (当該施設で調理された給食)	腸管病原性大腸菌	営業停止 (2日間)
6	令和6年7月18日	飲食店	42	35	0	不明 (7/18に当該飲食店で製造された弁当)	ウエルシ菌	営業停止 (2日間)
合計6件			131	74	0			

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性の確保

施策の方向性		(1)生産段階における食品の安全性の確保	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	①	「くまもとグリーン農業」の取組実施農家数の割合	※37.0%	23%	37%
取り組むべき施策	1) 安全な農水産物の生産・供給 2) 農薬・肥料・動物用医薬品等の適正使用の推進				

《行政》

※令和4年度

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 「くまもとグリーン農業」の推進	農業者における土づくりを基本に化学肥料・化学合成農薬の使用量を低減する「くまもとグリーン農業」の取組実施を推奨	取組実施農家数の割合 ※37.0%	23%	県、関係団体と連携し、農業者への制度周知や各取組の認定等の取得を推進した。	—	37%	農業支援課 (北東部・西南部農業振興センター農業振興課)
2	ノリ加工における安全性確保	若手漁業者を対象とした食品衛生に関する研修を開催する等、ノリ加工における安全性確保のための啓発を実施	実施	実施	漁業後継者を主な対象とし、海苔養殖業におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理についての研修会を実施	継続実施	継続実施	水産振興センター
3	農産物直販所連絡協議会	熊本市農産物直販所連絡協議会への情報提供、総会の開催	実施	実施	熊本市農産物直売所連絡協議会総会を開催し、各種情報共有を図った。	継続実施	未定	農水ブランド戦略室
4	食品の安全安心対策検査	熊本市内を流通する野菜や果物の残留農薬検査の実施	残留農薬検査実施率 42.9%	57.1%	計画数 56検体 実施数 32検体 違反なし	100%	100%	食品保健課 環境総合センター

《関係機関・団体》

	取組内容	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■食の安全安心確保に関する情報提供</li> <li>・熊本市農産物直売所連絡協議会総会を開催し、各種情報共有を図った。(1回)</li> <li>・協議会会員へ、安全な農産物、加工品についての情報提供を行った。(随時)</li> </ul>	熊本市農産物直販所連絡協議会

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性の確保

施策の方向性		(2) 製造、加工、流通、販売の各段階における食品の安全性の確保	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標 項目	②	食品営業施設の監視指導ポイント数達成率	86.6%	96.0%	100%
	③	食中毒の発生件数(暦年)	2件	6件	減少
取り組むべき 施策		3) 食品営業施設等に対する監視・指導の徹底			
		4) 食中毒予防のための衛生教育の実施と最新情報の提供			
		5) 食品関連事業者が行う自主的衛生管理に対する評価			
		6) 給食施設における安全性確保			
		7) いわゆる健康食品等による被害の防止			
		8) 適正な食品表示の監視・指導			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導の実施	熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導の実施	監視指導ポイント数達成率 86.6%	監視指導ポイント数達成率 96.0%	監視施設数:4,602施設 監視ポイント:9,596ポイント	100%	100%	食品保健課
2	●検証指標	食中毒の発生件数(暦年)	2件	6件	原因施設:全て飲食店 原因物質:カンピロバクター:2件、アニサキス、グドア、腸管病原性大腸菌、ウエルシュ菌:各1件	減少	減少	食品保健課
3	夏期・年末における食品、添加物等の一斉取り締まりの実施	食品事故が増加しやすい時期に食品の衛生的な取扱いや添加物の適正使用のほか、適正な食品表示等について監視指導を強化する	2回	2回	夏期:7/1~8/30 冬期:12/2~1/31	2回	2回	食品保健課
4	食品等事業者に対する衛生教育の実施	食品事業者に対して食中毒予防のための知識や最新情報を提供	実施	実施	実施回数:43回 参加者数2,379人	実施	実施	食品保健課
5	市長表彰等の実施	衛生功労者及び優良衛生施設等の表彰などによる評価を行い、事業者の衛生意識の向上を図る	—	実施	食品衛生功労者1人 食品衛生最優良施設3件 食品衛生優良施設9件	1回/各年 (偶数年に実施)	1回/各年 (偶数年に実施)	食品保健課
6	栄養管理、調理師研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	2回	2回	227人参加	2回	2回	食品保健課
7	給食施設の立入指導	給食施設の立入点検を実施し、施設・設備の衛生確保や食品の衛生的な取扱いについて指導を実施	立入実施率 69.3%	立入実施率 93.1%	学校、病院、事業者、高齢者・児童福祉施設にて実施 立入施設数:176施設	100%	100%	食品保健課
8	衛生管理研修会	給食調理職員等を対象とした衛生管理研修会を開催	開催数 1回	実施	年2回実施開催	1回/年	1回/年	健康教育課
9	給食物資選定委員会の開催	学校給食用物資の品質・味・内容分析の確認	実施	実施	年間15回実施開催	継続実施	継続実施	健康教育課
10	給食青果物査定会の開催	学校給食で使用する農産物の品質等の確認	実施	実施	年間17回実施開催	継続実施	継続実施	健康教育課
11	学校給食施設整備	小学校全給食室のドライ化の実施 (参考:中学校・共同調理場についてはドライ化改修済)	改修済施設数 39施設	未実施		拡充	拡充	健康教育課
12	食の安全確保と情報提供	給食従事者の検便の実施と食中毒・感染症予防等に関する情報提供	随時	随時	給食従事者の検便の実施と食中毒・感染症予防等に関する情報提供を研修会やメールで実施。電話相談に随時対応。	随時	随時	保育幼稚園課

13	保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生研修会の開催	保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生の研修会を開催	開催数 1回	1回/年	6/11に、保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生の研修会をオンラインで開催	1回/年	1回/年	保育幼稚園課
14	薬局、医薬品販売業における健康食品等の適正表示の監視	薬局及び医薬品販売業へ立入り検査を実施し、健康食品等の適正な表示を指導	法令等の遵守率 100%	100%	薬局及び医薬品販売業へ立入り検査を実施し、健康食品等の適正な表示を指導	100%	100%	医療対策課
15	適正な食品表示の支援実施	事業者からの相談に対して情報提供、適正な表示を指導する。	実施	実施	相談件数:210件 食品衛生法、健康増進法101件(食品保健課)、食品表示法109件(消費者センター)	実施	実施	食品保健課 消費者センター

《 関係機関・団体 》

	取組内容	関係機関・団体名
1	■食品衛生研修会の実施 活動を実施する中で必要な食品衛生の知識を身に着けた。(1回 157人)	熊本市食生活改善推進員協議会
2	■食中毒防止研修会の実施 熊本地方卸売市場(田崎市場)に従事する関係者を対象に、毎年2回(夏季・冬季)熊本市保健所から講師を招へいし、食中毒の防止対策等に関する研修会を開催した。(2回 合計130人)	(株)熊本地方卸売市場
3	■学校給食に関する会議への参加、及び理事会やHPでの周知・広報 熊本市学校給食会、熊本市学校給食運営協議会を出席した各委員が会議内容を市PTA協議会理事会で報告し、情報の共有を図った。(延べ40回)	熊本市PTA協議会
4	■乳幼児食育研究会 乳幼児の食に関する課題や保育現場での食育活動、給食管理(食物アレルギー対応、衛生管理等)の課題を解決していくために、県内の保育所等の関係者(主に給食担当者)が集って、研修を行った。(5回開催)	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
5	■産地見学研修 県内の牧場や工場などの食品関連企業の現地見学研修を行い、各企業の取組や衛生管理方法を学んだ。	(一社)全日本司厨士協会西日本

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性の確保

施策の方向性		(3) 食品などの検査	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標 項目	④	食品の収去検査実施率	78.1%	74.9%	100%
	⑤	食品の収去検査における違反件数	2件	2件	0件
取り組むべき 施策		9) 食品の安全性確認検査			
		10) 残留農薬、動物用医薬品、食品添加物等の検査			
		11) 検査機器の整備と精度管理			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 熊本市食品衛生監視指導計画に 基づく市内流通食品の収去検査	不良食品を排除し、安全な食 品の製造・流通の確保を図る ため、食品検査を実施	食品の収去 検査実施率 78.1%	食品の収去 検査実施率 74.9%	計画数223検体、実施 数167検体(成分規格 基準違反2件、県指導 基準等不適7件)	100%	100%	食品保健課 環境総合セ ンター
2	●検証指標	食品の収去検査における違 反件数	2件	2件	鯨肉製品1件、 アイスクリーム類1件 原因究明及び再発防 止策を指導した	0件	0件	食品保健課
3	熊本地方卸売市場食品衛生監視 所におけるスクリーニング検査	市場の流通食品のスクリーニ ング検査を実施	残留農薬 簡易検査 実施率 33.3%	食品の収去 検査実施率 65.0%	野菜・果実の残留農 薬簡易検査 計画数20検体、実施 数13検体 違反なし	100%	100%	食品保健課
4	食材検査	学校給食に使用する食材等 の微生物及び理化学検査を 実施	67検体 101項目	56検体 101項目	学校給食に使用する 食材等の微生物及び 理化学検査を実施	継続実施	継続実施	健康教育課 環境総合セ ンター
5	分析精度管理	外部精度管理、検査機器の 保守点検、検査用試薬の管 理、検査技術研修を実施	6回/年	5回/年	細菌検査:3回(一般 細菌数、腸内細菌科 菌群、サルモネラ)、 理化学検査:2回(食 品添加物(保存料と着 色料))	5回/年	未定	環境総合セ ンター

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性の確保

施策の方向性		(4) 消費段階における食品の安全性の確保	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑥	衛生講習会の受講者数	3,325人	4,574人	10,000人
	⑦	食の安全性確保のために意識して実践していることがある市民の割合	68.4%	-	80%
	⑧	食品を購入する際に表示を確認している市民の割合	73.3%	-	90%
取り組むべき施策		12) 家庭、職場、学校等における食品衛生知識の普及と実践			
		13) 世代ごとのリスクコミュニケーションの充実			
		14) 食の安全安心について正しい知識を持つ消費者の育成			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供	保健所職員による食品衛生に関する講習や出前教室による啓発を実施	受講者数 3,325人	受講者数 4,574人	衛生教育、食品保健課主催研修会、バザー等開催届による啓発	10,000人	10,000人	食品保健課
2	消費者団体連絡会支援	消費者団体が実施・参加する食の安全安心活動への支援	会議出席	会議欠席	くまもと食の安全安心県民会議(欠席)	継続実施	継続実施	生活安全課 消費者センター
3	食品バザーやこども食堂等の主催者に対する衛生指導の実施	バザー等開催時の衛生管理のポイントや注意点について動画等を活用した情報提供	実施	実施	バザー等開催届件数 466件	実施	実施	食品保健課
4	小学校への手洗いチェッカー貸出事業	応募があった小学校に対して手洗いチェッカーを貸し出し、正しい手洗いの習得と衛生意識の向上を図る (R5より実施)	7施設	6施設	手洗い体験を行った児童数 464人	12施設	12施設	食品保健課

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性の確保

施策の方向性	(5)熊本の食に関する文化や製品の振興に向けた安全性の確保		R5 基準値	R6 実績値	R17 目標値
検証指標項目	⑨	地下水の水質監視割合	100%	100%	100%
取り組むべき施策	15) 熊本の水の衛生確保				
	16) 農水産物、特産品、土産品などの衛生確保				
	17) 健康づくりに協力する飲食店等への支援				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 水質監視	地下水質の監視	水質監視 割合 100%	水質監視 割合 100%	測定計画に基づき地下水の水質監視を行った。	100%	100%	水保全課
2	熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導を実施	計画に基づき、特産品の検査や衛生的な取扱い等の監視指導を実施	実施	実施	特産品(馬刺、辛子運根)の収去検査 計画数18、実施数16 違反・不適なし	実施	実施	食品保健課
3	輸出業者に対する助言・指導	食品の輸出を行う食品等事業者に対し、施設の衛生管理に関する助言・指導を実施	実施	実施	台湾向け輸出食品(乳・卵など)に係る衛生証明書発行 15件 自由販売証明書発行 に関する事務 8件 輸出食肉製品取扱施設の手続き 2件	実施	実施	食品保健課

## II 食品等事業者の自主衛生管理の推進

施策の方向性		(1)HACCPの定着	R5 基準値	R6 実績値	R17 目標値
検証指標 項目	⑩	HACCPについて知っている市民の割合	34.7%	-	50%
取り組むべき 施策	18) 効果的なHACCP導入の支援				
	19) HACCPの市民への周知				

### 《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	熊本市食品衛生監視指導計画に基づくHACCP導入支援	計画に基づき、危害分析・検証等に関する技術的支援を実施	実施	実施	業種に応じた説明を窓口で実施 衛生管理計画書の作成及び記録の付け方を指導した	実施	実施	食品保健課
2	HACCPの実施状況の確認	事業者のHACCPに沿った衛生管理の実施状況を確認	実施	実施	調査・臨検時に実施状況を確認し、必要な指導助言を行った	実施	実施	食品保健課
3	市民へのHACCPの周知	事業者がHACCPに沿った衛生管理を実施していることを市民に周知し、HACCPへの理解を推進する	実施	実施	市施設への啓発資材の配布 31施設 1,830枚	実施	実施	食品保健課
4	HACCPで守る食の安全宣言事業	食品等事業者におけるHACCPに沿った衛生管理の普及及び市民へのHACCP制度の周知 飲食店などの食品等事業者がHACCPに沿って衛生管理を実施していることの見える化を目的に、市が作成したステッカーを交付する	—	実施	安全宣言届出数 49施設 令和6年11月から実施	のべ 600施設	のべ 1,200施設	食品保健課

Ⅲ 国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

施策の方向性		(1) 健康危機管理体制の充実及び強化	R5 基準値	R6 実績値	R17 目標値
検証指標 項目	①	健康危機管理研修会の開催数	1回	1回	1回
取り組むべき 施策	20) 初動対応の充実による被害拡大の防止				
	21) 新たな健康危機に対応できる体制の構築				
	22) 報道発表など公表による被害拡大の防止				
	23) 食品衛生監視員等の資質の向上				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 健康危機管理研修会の開催	健康被害や新たな健康危機の発生に備え、健康危機管理研修会を開催	開催数 1回	1回	国主催のオンライン研修に参加(食中毒に関する講話・事例演習)	1回	1回	健康危機管理課
2	食中毒、苦情発生時の迅速な原因 究明	健康被害拡大防止のため、 迅速な原因究明を実施	123検体 2067項目	241検体 3534項目	食中毒検査対応	随時	随時	環境総合センター 食品保健課
3	食中毒などの健康被害発生時の迅速な 報道発表	迅速な報道発表による健康被害 拡大防止を図る	3件	7件	食品保健課 7件(食中毒) (健康危機管理課、医療 対策課、感染症予 防課、生活衛生課は0 件)	随時	随時	健康危機管理課 医療対策課 食品保健課 感染症予防課 生活衛生課
4	食品衛生監視員等の資質向上に係る 研修	食品衛生に係る人材の養成及び 資質の向上のための 研修を実施	開催数 22回	開催数 29回	派遣研修15回 課内研修14回	12回/年以 上	12回/年以 上	食品保健課

### III 国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

施策の方向性		(2) 食品の安全確保のための連携	R5 基準値	R6 実績値	R17 目標値
検証指標項目	⑫	食品衛生指導員巡回施設数	515件	383件	1,500件
取り組むべき施策	24) 国・県・他市町村及び庁内の連携強化 25) 食品関連事業者団体等との連携				

#### 《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	国・県・他市町村との連携強化	食品の安全性確保の役割を担う国・県・他市町村との連携を強化	随時	随時	国・県主催の会議等に随時参加	随時	随時	食品保健課
2	健康危機管理連絡会の開催	医療機関・消防署など関係機関との連携強化を図るため、健康危機管理連絡会議を開催	1回	1回	医療機関・消防署など関係機関と健康危機管理に関する情報交換、意見交換等実施。	1回	1回	健康危機管理課
3	熊本市食品衛生協会との連携・協働	協会が開催する食品衛生責任者の養成講習会などへ講師を派遣し、食品衛生の向上を図る	講習会開催数 8回	講習会開催数 8回	食品衛生責任者：養成講習会 6回（計1,066人） 実務者研修会 2回（計126人）	随時	随時	食品保健課
4	国・県・他市町村との連携強化	国が主催する食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会や全国の地方衛生研究所で運営する全国衛生化学技術協議会等参加し、検査技術向上のため情報収集を行い、連携を強化する。	1回	2回	食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会、 全国衛生化学技術協議会	1回	1回	環境総合センター

#### 《関係機関・団体》

	取組内容	関係機関・団体名
1	<p>■ 食品衛生指導員事業、食品衛生普及事業</p> <p>① 食品衛生指導員による施設の巡回指導 R6施設数:383件</p> <p>② 食品衛生月間(8月1日～8月31日)の食中毒予防のラジオスポット広報</p> <p>③ ノロウイルス食中毒予防月間(11月1日～翌年2月29日)の冬期食中毒予防のラジオスポット広報、リーフレットの街頭配布</p> <p>④ 機関紙の発行、くまもと市食品衛生協会新聞発行(2回 各号3,000部発行)</p>	熊本市食品衛生協会

IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

施策の方向性		(1) 市民意見の施策への反映	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑬	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催数	2回	2回	2回
取り組むべき施策	26) 市の施策に市民等の意見を反映する体制の充実 27) 健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 2回	開催数 2回	健康くまもと21推進会議1回、食の安全安心・食育部会1回	2回	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
2	食品衛生監視指導計画に関する市民からの意見聴取	食の安全安心ホームページ等を活用した意見聴取と市民意見の反映を図る	実施	実施	熊本市安全安心のひろばホームページにて計画(案)への意見募集記事を掲載	実施	実施	食品保健課
3	給食で使用する農産物の生産者・流通機関との情報交換	栽培方法、農薬等の情報交換を実施	実施	実施	次年度の市産農産物の使用予定等について、意見交換を行った	実施	実施	健康教育課
4	給食物資選定委員会・給食青果物査定会の開催	保護者、学校、調理場、栄養教諭等が一同に会し、給食物資の選定を実施	実施	実施	物資選定委員会15回 青果物査定会17回	継続実施	継続実施	健康教育課
5	地産地消フェアの開催	地産地消フェアを開催し、生産者と消費者の交流機会を創出	実施	実施	対面式での地産地消フェアを11月、12月及び2月の各月2日、計6日間実施した。	継続実施	未定	農水ブランド戦略室
6	消費者代表としての各種委員への就任	消費者の立場からの意見を行政の施策等に反映する	委員就任、会議への出席	委員就任、会議欠席	食品モニター会議	継続実施	継続実施	生活安全課 消費者センター

IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

施策の方向性		(2) 市民自らが食の安全性を判断して選択できる環境の充実	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑭	食に関するホームページへの情報掲載数	19回	54回	50回
	⑮	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	61.4%	-	65%
	⑯	「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	50.3%	-	40%
	⑰	「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	55.9%	-	40%
	⑱	「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	44.9%	-	40%
	⑲	「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	50.6%	-	40%
	⑳	熊本市が食品の検査を実施していることを知っている市民の割合	24.7%	-	50%
	㉑	飲食店などを選択する際HACCPを実施していることを重視する市民の割合	13.5%	-	20%
取り組むべき 施策	28) 食の安全に関する情報の見える化				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 熊本市ホームページ等による情報提供	ホームページ「安全安心のひろば」及び熊本市ホームページにより、食中毒注意報発令時の緊急情報や食品の検査結果等の情報提供を行う。	情報掲載数 19回	54回	安全安心のひろば:41回(緊急速報4回、お知らせ37回)、熊本市ホームページ:13回	50回	50回	食品保健課
2	市政だより、マスメディア、SNS等を活用した情報の提供	食の安全性に関する正確な情報の提供	提供回数 19回	22回	市政だより:7回、テレビ:1回、ラジオ:5回、その他:9回	随時	随時	食品保健課
3	感染症に関する情報提供	市のホームページに最新の動向を掲載する	1回/週	1回/週	52回 時期や発生動向に応じた内容(疾患の説明、予防対策等)を選定し情報提供した。	継続実施	継続実施	健康危機管理課
4	ノロウイルス食中毒注意報の発令	感染性胃腸炎の発生傾向をもとにノロウイルス食中毒注意報を発令し、注意喚起を行う	発令無し	発令	2025/2/28発令	必要時	必要時	食品保健課

IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

施策の方向性	(3) 食に関する相談窓口の充実		R5 基準値	R6 実績値	R17 目標値
検証指標 項目	㉔	食品苦情相談への対応数	346件	388件	減少
取り組むべき 施策	29) 総合的な相談窓口の充実				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 食の安全安心に関する相談	食の安全安心に関する相談を受け、正しい情報を提供するとともに、食品等に関する苦情の原因等の調査を実施する	苦情受付 件数 346件	苦情受付 件数 388件	主な内容 体調異常:157件、 異物混入:54件、 表示:35件、 施設:33件	減少	減少	食品保健課
2	消費者生活相談	食に関する正しい情報提供を通して、自立した消費者を育成する	344件	438件	消費生活の相談の一部として食に関する相談を受け付けた。	継続実施	継続実施	生活安全課 消費者センター

IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

施策の方向性	(4) 食品等事業者との情報の共有		R5 基準値	R6 実績値	R17 目標値
検証指標項目	㉓	熊本市食品安全情報ネットワークでの情報発信数	25回	26回	24回
取り組むべき施策	30) 行政、市場、大型量販店の情報の共有化				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 食品安全情報ネットワークでの情報発信数	市場や大型量販店等の食品等事業者とのネットワークを活用した情報共有によって、日頃からの連携と相互理解の推進を図る。	情報提供回数 25回	情報提供回数 26回	定期情報22回 緊急情報4回	24回	24回	食品保健課

V 食育を通じた食の安全安心の確保(共通)

施策の方向性		(1)災害に備える食を含めた、食の安全性や栄養等に関する理解の促進	R5 基準値	R6 実績値	R17 目標値
検証指標 項目	㉔	食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	52.4%	-	60%
	㉕	災害に備えて飲料水や食料を7日以上備蓄している市民の割合	4.1%	5.8%	増加
取り組むべき 施策		31) 食育体験を通じた食品衛生知識の普及			
		32) 食育を通じた食の安全に関する情報の共有化			
		33) 基礎的な調査・研究等の実施			
		34) 災害時に備える食育の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	国民健康・栄養調査事業	国民健康・栄養調査(年1回)、県民健康・栄養調査(5年に1回)により身体の状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにする	2地区実施	4地区実施	令和6年は拡大調査のため、4地区で実施	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	防災食育講座	日頃から有事に備えて、衛生面や栄養バランスに配慮した食生活が、地域で協力し合い実践できるよう、食を通じた防災活動の普及啓発を行う	実施	実施	災害時の食の備えについての講話及び、バッククッキング調理実習	継続実施	継続実施	各区保健子ども課
3	身体状況・主食量調査	公立保育所における給食の食事計画評価を行うための基礎資料として、身体状況調査(1歳以上の園児)及び3歳以上児が持参している主食量の重量調査を行う。	実施	実施	年2回(6月と1月)に調査を実施	継続実施	継続実施	保育幼稚園課
4	保育所等における食物アレルギー対応状況調査	市内保育所等の施設に在園する食物アレルギーを有する児並びに施設の食物アレルギー対応状況の実態把握を行う。	-	実施	5月に調査を実施	実施	継続実施	保育幼稚園課

**議題 2-1**

**第4次熊本市食の安全安心・食育推進計画  
「食育の推進」の進捗状況について**

「食育の推進」については、第4次推進計画に掲げている以下①～④の4つの目標に基づき、様々な事業を展開した。

- ① 全ての市民の食育への理解の増進
- ② 健全な食生活が実践できる環境整備
- ③ 市民運動としての食育の推進
- ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進

#### 令和6年度（2024年度）の取組

##### ① 全ての市民の食育への理解の増進（20～26頁）

家庭における食育の推進のため、乳幼児や高齢者対象のサークルや食育実践講座の開催回数についても、コロナ禍以降徐々に増えており、乳幼児健康診査等各種相談の場で、食生活の相談や不安解消に努めた。

##### ② 健全な食生活が実践できる環境整備（27～32頁）

健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信では、食生活改善推進員が実施する「すこやか食生活改善講習会」は全92校区で開催し、便秘予防についての情報発信と調理実習を行った。

また、市民の野菜摂取量の増加を目指した食環境整備の取組では、224の食品関連事業者と協働で、店舗での啓発ポスター掲示と野菜レシピのリーフレットの配置、併せて健康ポイント事業の中でクイズミッションやポスターミッションで、ポイントをインセンティブとした市民啓発を行った。

##### ③ 市民運動としての食育の推進（33～36頁）

食育に関する取組等を広く啓発するため、「くまもとの食」ホームページの改修を行い、スマートフォン表示に対応した。

こどもの食育推進ネットワークの活動における保育所等と団体が連携活動した割合は19.1%であったが、全体研修会の開催や区役所毎の地域研修会等を開催、ネットワークメンバーの資質の向上と関係団体との連携を図った。

##### ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進（37～43頁）

令和6年度から開始した「いきなり団子プロジェクト」では、食生活改善推進員が実施し、市立小中学校に郷土料理に関する調理実習を実施し、次世代であるこどもたちにくまもとの郷土料理について伝承した。また市民に対しても郷土料理レシピ集「熊本のごはん」を用い、郷土料理の普及啓発を行った。

また、農水局、教育委員会事務局、健康福祉局の3局合同で実施した、学校給食を軸とした食育プロジェクト「まるごと くまもと ありがとうのひ」給食では、熊本県産市産品を100%使用した学校給食を提供するとともに、生産者と児童との交流を図った。また、学校給食再現メニューや熊本市の農水産物をリーフレットにし、食品関連事業者等に設置するなど、市民への啓発を行った。

#### 令和7年度（2025年度）の重点的に行う取組

・いきなり団子プロジェクトの料理教室の回数を増やし、次世代のこどもたちに郷土料理を伝承する。

・食育月間、食育の日での啓発、市役所地下食堂と連携した食育の日特別メニューの提供、野菜摂取量増加のための食品関連事業者と協働した啓発やスマートミール登録支援など食環境整備の強化を図る。

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

\*令和4年度実績値

施策の方向性	(1)家庭における食育の推進		R5	R6	R17	
			基準値	実績値	目標値	
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合	88.2%	—	95%	
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	10.4回	—	11回	
	③	朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、 他は「ほとんど食べない」の割合	幼児	96.7%	—	100%
			小学5年生	*1.9%	—	0%
			中学2年生	*2.5%	—	0%
若い世代【20歳代・30歳代】			13.3%	—	10%以下	
65歳以上	2.3%	—	0%			
取り組むべき施策	1) 健康をつくる「食」についての啓発					
	2) 食を楽しむことについての啓発					
	3) こどもの頃からの体験を通じた食育の推進					

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	朝食の摂取状況 小学5年生	1.2%	—		0%	0%	健康教育課
2	●検証指標	朝食の摂取状況 中学2年生	2.5%	—		0%	0%	健康教育課
3	■検証指標に準じる指標	1歳6か月児健康診査ー朝食を毎日食べている子の割合(受診前質問票集計)	96.9%	96.7%		100%	100%	各区保健 こども課
4	■検証指標に準じる指標	3歳児健康診査ー朝食を毎日食べている子の割合(受診前質問票集計)	94.2%	94.7%		100%	100%	各区保健 こども課
5	■検証指標に準じる指標	健康のために実行していることー毎日朝食を食べる(総合計画アンケート)	76.1%	72.5%		100%	100%	健康づくり 推進課
6	■検証指標に準じる指標	3歳児健康診査ーこどもだけで食事をすることが「よくある」「時々ある」こどもの割合(受診前質問票集計)	17.4%	18.1%		0%	0%	各区保健 こども課
7	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	実施	子育て支援に関する各種制度やイベント情報等の掲載	継続実施	継続実施	こども政策課
8	乳幼児ママ・パパ教室	就学前のこどもを持つ保護者の団体や子育てサークル等に講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	派遣回数 4回	派遣回数 4回	・食育について ・簡単レシピの紹介 ・アレルギー食、発酵食品について 等	継続実施	継続実施	こども支援課
9	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	90回 810人	89回 783人	育児サークル等にて離乳食の進め方等について講話を実施	継続実施	継続実施	各区保健 こども課
10	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	16回 117人	28回 160人	育児サークル等にて幼児期の食生活について講話を実施	継続実施	継続実施	各区保健 こども課

11	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	相談件数 1,233人	相談件数 1,257人	電話や来所相談を実施	継続実施	継続実施	各区保健 こども課
12	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加人数 2,181人	参加人数 2,017人	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	継続実施	継続実施	各区保健 こども課
13	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	受診率 98.0%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	100%	こども支援 課
14	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	該当者なし	該当者なし	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	医師の指示 があれば 全数対応	医師の指示 があれば 全数対応	こども支援 課 各区保健 こども課
15	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.1%	受診率 97.9%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	100%	こども支援 課
16	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 97.1%	受診率 96.0%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	100%	こども支援 課
17	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 97.9%	フォロー率 98.0%	面接、電話にてフォローを実施	100%	100%	各区保健 こども課
18	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.2%	受診率 98.3%	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	100%	100%	こども支援 課 各区保健 こども課
19	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.7%	受診率 98.4%	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	100%	100%	こども支援 課 各区保健 こども課
20	乳幼児経過観察健診	こどもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 96.1%	受診率 92.6%	こどもの発育・発達状況に応じた指導を実施	100%	100%	こども支援 課 各区保健 こども課
21	子育て支援センター来所者の保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ。	実施なし	育児講座 4件 給食紹介 6件	・育児講座 (離乳食・幼児食) ・就園についての講座 等	継続実施	継続実施	こども支援 課 子育て支援 センター
22	はやね・はやおき・あさごはんカード	熊本市こどもの食育推進ネットワークで作成した、はやね・はやおき・あさごはんカードを用いた家庭での生活リズムの確立のための支援	配付数 6,274枚	配付数 7,341枚	ネットワーク加入かつ申込のあった162施設(団体)からカードを配付	継続実施	継続実施	健康づくり 推進課 各区保健 こども課

＜関係団体・機関＞(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
1 食育推進「母子福祉支援活動」～バレンタイン料理教室～ 親子料理教室 ・参加者 親子22人、栄養士会、9人、母子会6人	R7継続 (公社)熊本市栄養士会
2 およこの食育教室 力合校区の親子を対象に、だご汁・ライスペーパー餃子の調理実習を実施。 ・開催日 令和6年11月9日 ・参加者数 30人	R7継続 熊本市食生活改善推進員協議会

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

\*令和4年度実績値

施策の方向性		(2) 学校、保育所・幼稚園等における食育の推進	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	④	体験型食育活動に取り組んでいる保育所・幼稚園等の割合(実施園数/全施設数)	*91.1%	94.2%	100%
	⑤	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	*82.0%	88.0%	100%
取り組むべき施策		4) 体験型食育活動に取り組んでいる保育所・幼稚園等の割合(実施園数/全施設数)			
		5) 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	体験型食育活動に取り組んでいる保育所・幼稚園等の割合(実施園数/全施設数)	94.0%	94.2%	園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供、クッキング体験等を実施	100%	100%	保育幼稚園課 指導課
2	●検証指標	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	79.6%	88.0%	PTA総会、懇談会等	100%	100%	健康教育課
3	保育所・幼稚園等での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 公立100% 私立93.5%	実施率 公立100% 私立87.7%	園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供、クッキング体験等を実施	100%	100%	保育幼稚園課 指導課
4	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心を高め、食について親子での会話を促す。	実施率 公立100% 私立75.0%	実施率 公立100% 私立69.6%	・実物の展示食を用いて、必要量や形態等を啓発 ・おやつ展示による、内容や補食量の啓発	100%	100%	保育幼稚園課
5	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 公立100% 私立93.5%	実施率 公立100% 私立90.0%	(公立) 「熊本市保育所食育推進年間計画」に基づき、月ごとの食育目標に沿った内容で情報を発信	100%	100%	保育幼稚園課
6	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 公立31.6% 私立54.4%	実施率 公立36.8% 私立55.7%	(公立) 保育参観等を利用した、保護者への給食についての説明や試食提供を実施	85%	85%	保育幼稚園課
7	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	実施	「食育の日～ひごまるデー～」を中心に、市産品を活用した給食献立を実施	継続実施	継続実施	健康教育課
8	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	継続実施	継続実施	健康教育課
9	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	応募数 996点	応募数 454点	給食に関する児童生徒の作品を展示(R6年度より、作文・書道を除いた、ポスター・献立のみ。)	継続実施	継続実施	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
1 <b>100円朝食</b> 朝食の大切さを知ってもらうために毎年実施。学生に負担がかわらないよう、大学が150円を補助し、学生は100円で朝食が摂れる。 ・朝食利用件数 8,848件	R7継続 崇城大学
2 <b>小学校歯磨き巡回指導</b> 熊本市歯科医師会・教育委員会と連携。熊本市立小学校児童を対象に講話と歯磨き実技指導を実施。 ・令和6年7,9,10,11,12月 10校児童延べ760人	R7継続 熊本県歯科衛生士会

3	<b>ほいくフェスタわんぱく祭り</b> 野外活動・子ども・保護者への食育に関する啓発活動等 ・開催日 10月20日 ・参加者数 1,274人	R7継続	(一社)熊本市保育園連盟
4	<b>理事会やホームページでの周知広報</b> 日本PTA全国協議会や諸団体から配付されている食育に関する冊子を理事会で回覧し、全国のPTAや教育委員会等での取組を共有する。	R7継続	熊本市PTA協議会
5	<b>楽しい子育てキャンペーン「三行詩コンクール」への応募</b> 日本PTA事業である楽しい子育てキャンペーン「三行詩コンクール」に、各単位PTAから応募してもらい、家族のきずなや食のありがたさを再確認する。	R7継続	熊本市PTA協議会
6	<b>単位PTAが食育関連の催しを実施できるよう情報提供などのサポートをする。</b> ・植木小にて、くまもと食育塾の坂本良子氏による講演会を開催。 演題「子どもの体とこころを育てる気のある食事」	R7継続	熊本市PTA協議会
7	<b>ベジチャージ@学食キャンペーン</b> 学生食堂で販売される弁当・カレーに無料で野菜入りスープをつけて提供。学食を利用していない学生の野菜摂取量底上げのため、学食で購入して学生にも無料で30食(時期によって40食)の野菜スープを提供。 ・実施期間 令和6年4月～令和7年2月	R7継続	熊本県立大学
8	<b>ときわ幼稚園への食育及び行事食の提供</b> ときわ幼稚園の園児に対し、バフェを通して食材の説明、食の大切さ、楽しく食べることを伝えた。また、クリスマスケーキやバレンタインデー等、行事にあわせた食を提供した。	R7継続	学校法人常盤学園 シェフパティシエ学院
9	<b>園への食育訪問</b> ときわ幼稚園へ食事会を実施。 ・開催日 令和6年10月16日 ・参加者数 76人(園児、先生)	R7継続	(一社)全日本可厨士協会西日本

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

\*令和4年度実績値

施策の方向性	(3) 地域における食育の推進	R5	R6	R17
		基準値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑥ 企業、大学等での食育に関する講座の開催件数	*3件	17件	40件
	⑦ 住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	*768	841	876 (令和8年度)
取り組むべき 施策	6) こどもや高齢者に対する食育の推進			
	7) 若い世代や働き盛り世代に対する食育の推進			
	8) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	11件	10件	食事のバランスや、女性のやせの問題等食生活に関する講座を実施	40件	40件	各区保健 こども課 健康づくり 推進課
2	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	7件	7件	野菜摂取の大切さ等働きざかり世代へ食生活に関する講座を実施			各区保健 こども課 健康づくり 推進課
3	●検証指標	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	811	841	くまもと元気くらぶや地域ささえあい、ふれあいいきいきサロン、その他地域活動のうち、月1回以上の活動	876 (R8年度)	—	高齢福祉課
4	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	21回 377人	23回 407人	フレイル対策や低栄養予防のための食生活について講話を実施	継続実施	継続実施	各区保健 こども課
5	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 (※R2からは、「啓発パンフレットの作成と配布」を除く)	364	428	くまもと元気くらぶ等で健康相談や健康教室、熱中症予防対策の講話を実施	継続実施	継続実施	高齢福祉課
6	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	配布数 6,911枚	配布数 6,088枚	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	継続実施	継続実施	健康教育課
7	こども食堂(地域食堂)の活動支援	開設時の相談受付、補助金等の情報提供、食材等寄付のマッチング等、食育・孤食防止等に取り組むこども食堂(地域食堂)への支援を実施	実施	実施	開設時の相談受付、補助金等の情報提供、食材等寄付のマッチング、未開設校区へのPR活動などを実施	継続実施	継続実施	こども政策課
8	短期集中予防サービス(栄養改善プログラム)	栄養改善が必要な方に対し、訪問による個別の栄養相談のプログラムを実施	154	102	管理栄養士が自宅を訪問し1回・3ヶ月(合計3回)の集中的な支援活動	継続実施	継続実施	高齢福祉課
9	健康教室(一体的実施事業)	フレイルのための健康教室を実施。体力測定や質問を活用し、フレイル状態の把握する機会とし、フレイル予防に関する健康教室を実施	45箇所	63箇所	体力測定・健康講話を2回コースで実施した。健康講話では栄養のフレイル予防についての説明を行った。	継続実施	継続実施	国保年金課

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
1 歯の祭典 歯の祭典内の各コーナーで食育についても啓発等を行う。 ・開催日 令和6年6月9日 ・場所 びぶれす広場 ・来場者数 588人	R7継続 (一社)熊本市歯科医師会
2 歯たちの健診 熊本市内の大学の学園祭等にて、無料歯科健診をし、その中で食育に関する指導も行う。 ・開催日 令和6年11月24日 ・場所 尚綱大学九品寺キャンパス ・健診者数33人	(一社)熊本市歯科医師会

3	<b>熊本市民健康フェスティバル</b> ・開催日 令和6年10月6日 ・場所 熊本城ホール ・歯科相談者数 155人 ・内容 歯科相談・健診、口臭測定	R7継続	(一社)熊本市歯科医師会
4	<b>歯磨き巡回指導</b> 小学3年生を対象に、ブラッシング指導等を実施する。 ・実施期間:令和6年7～12月 ・実施校数 10校	R7継続	(一社)熊本市歯科医師会
5	<b>情報誌りんどうの配付</b> 特集「骨粗しょう症の予防法はライフステージに合わせた対策をとること」 ・配付数 熊本市内500部配付	R7継続	(公社)熊本県栄養士会
6	<b>公開講座</b> 秋季研修会 講演「がんと栄養～がん治療を乗りきるからだ作りのために～」 シンポジウム「入院から在宅へ～知っておきたい食事と栄養・緩和ケア・薬について～」 ・参加者数 95人	R7継続	(公社)熊本県栄養士会
7	<b>栄養・食生活相談</b> 食事のとり方について電話及び面接による栄養相談 ・電話 3件、 面接 7人	R7継続	(公社)熊本県栄養士会
8	<b>短期集中予防サービスによる訪問栄養指導</b> ・対象者 2人、回数 4回	R7継続	(公社)熊本県栄養士会
9	<b>熊本市子ども文化会館との共催で歯科健康講座</b> 内容 ・講話「こどもの健やかな成長のために!」～こどものむし歯予防4つのポイント、かかりつけ歯科医を持ちましよう～ ・仕上げ磨き実技指導 ・開催日 令和6年5月16日 ・参加者数 乳幼児6人、保護者6人	R7継続	熊本県歯科衛生士会
10	<b>歯の祭典</b> 市歯科医師会と共催。「一生おいしく安全な食生活を営むためには、歯と口の健康づくりから」を目的に、 歯科衛生士会コーナーで普及啓発活動を実施。 ・開催日 令和6年6月2日 ・来場者 210人	R7継続	熊本県歯科衛生士会
11	<b>高齢者健口講座</b> いつまでも楽しく安全な食生活を目指すために、高齢者対象の「お口の健康講座」を開催。 テーマ「オーラルフレイル予防と災害時の口腔ケア・食べる姿勢について」(講話と口腔体操等) ・開催日 令和7年2月25日 ・参加者 地域の高齢者 21人	R7継続	熊本県歯科衛生士会
12	<b>熊本市支部主催 市民公開講座</b> 熊本市歯科保健推進事業実施団体に対する補助金を活用し市民公開講座を開催。 ・開催日 令和7年3月23日 ・参加者 市民61人 ・内容 家庭でできる食育セミナー「食べることは生きること～賢く食べて、歯を衛(まも)ろう～」		熊本県歯科衛生士会
13	<b>校区社協主催のいきいき教室</b> ・いきいき教室 12回(熊本市食生活改善推進員協議会と協働) 食の楽しみや食の大切さ等についての講話や食中毒の注意喚起を行った。 ・いきいき教室 2回(事業所の管理栄養士からの講話等) 圏域の事業所の管理栄養士へ依頼し、食事指導及び講話を行った。	R7継続	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
14	<b>男の料理教室</b> 食生活改善推進員協議会主催で、管理栄養士の講話及び各自治会長(男性)と調理実践、食事指導	R7継続	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
15	<b>事業所向けの健康づくりセミナーを開催</b> セミナー実施24件(食習慣をテーマにした件数を抜粋)	R7継続	全国健康保険協会 熊本支部
16	<b>すこやか食生活改善講習会</b> 地域住民を集めて、「便秘予防の食生活」をテーマに、健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催。 ・開催回数 92校区、92回 ・参加者数 1,323人	R7継続	熊本市食生活改善推進員協議会
17	<b>食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成講座事業(若者世代)</b> 熊本中央高校の生徒を対象に、食事バランスプレートを使用し、汁物の食塩濃度の測定等を伝え、減塩の必要性の啓発を行い、ヘルスサポーターを養成した。 ・開催日 令和7年1月16日 ・参加者数 22人	R7継続	熊本市食生活改善推進員協議会
18	<b>食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成講座事業(高齢世代)</b> 高齢者の地域参加を促し、低栄養やフレイル予防のためのランチョンマット等を使用し講話を実施。 北区実施分 ・開催日 令和6年10月1日 ・参加者数 34人 東区実施分 ・開催日 令和6年11月24日 ・参加者数 25人	R7継続	熊本市食生活改善推進員協議会
19	<b>こどもの健康・食生活の支援活動</b> 子育て世代の地域住民に、手作りおやつレシピを配付し、作り方、適切な量や食べ方、こどもの頃からの食育の重要性について講話を実施。 ・1,073回 5,500人	R7継続	熊本市食生活改善推進員協議会
20	<b>若者・働き世代の健康・食生活の支援活動</b> 若者や働き世代の方に対し、若いことからの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施。 ・1,915回 5,868人	R7継続	熊本市食生活改善推進員協議会
21	<b>高齢者の健康・食生活の支援活動</b> 高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活や日常生活についての講話等活動を実施。 ・2,917回 10,270人	R7継続	熊本市食生活改善推進員協議会
22	<b>熊本城マラソンおもてなし隊 みそ汁配付</b> マラソン参加者にみそ汁の配付を行った。 ・開催日 令和7年2月16日 8,000食配付		熊本市食生活改善推進員協議会 熊本市農業協同組合
23	<b>子育てサークルや保育園、小中学校、高校、大学、地域イベント等における歯と口の健康づくり啓発</b> むし歯や歯周病予防の観点から、規則正しい食生活や咀嚼ガムを使用し、よく噛むこと(噛みんぐ30)の効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図った。 ・実施回数 113回	R7継続	熊本市8020健康づくりの会

<p>24 <b>高齢者サロンや老人会での口の体操</b>          高齢者サロンや老人会などにおいて、おいしく食べるための口の体操や唾液腺マッサージなどの情報提供を実施。          ・実施回数 396回</p>	R7継続	熊本市8020健康づくりの会
<p>21 <b>子育てサポートカーニバルにおける歯と口の健康づくり啓発</b>          ども文化会館でのイベントにおいて、乳幼児とその保護者に向けて、ゲームやエプロンシアターなどの啓発媒体を使用し、むし歯や歯周病予防の観点から規則正しい食生活やよく噛むことの効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図った。          ・実施回数 1回</p>	R7継続	熊本市8020健康づくりの会
<p>22 <b>わんぱくまつりにおける歯と口の健康づくり啓発</b>          熊本市保育園連盟主催のわんぱくまつりにおいて、未就学児童とその保護者に向けて、むし歯や歯周病予防の観点から規則正しい食生活やよく噛むことの効果などをパネルやバベット人形などの啓発媒体を使用しながら、口の体操や情報提供を行い、食育の推進を図った。          ・実施回数 1回</p>	R7継続	熊本市8020健康づくりの会
<p>19 <b>子ども食堂への支援</b>          JA熊本市女性部部員の畑2か所に、年間3種類(じゃがいも、大根、玉ねぎ)の野菜を栽培し、子ども食堂へ支援をした。          ・実施回数 7回 延べ数 63団体</p>	R7継続	熊本市農業協同組合
<p>20 <b>熊本市民を対象とした健康イベントへの参加</b>          ①結核予防週間・がん征圧月間街頭キャンペーン(ヘルシーデー)の開催          ・開催日 令和6年9月21日 ・内容 ゆめタウンまはせんにて野菜摂取量測定・体組成測定・血圧計測・健康相談等を実施          ②健康商店街健康イベント「けんぐん食と健康まつり」に参加          ・開催日 令和6年11月16日 ・内容 骨密度測定・野菜摂取量計測と健康相談を実施          ③くまもと健康づくり県民横丁に参加          ・開催日 令和7年2月9日 ・内容 野菜摂取量計測を実施          ④熊本城マラソンイベントに参加          ・開催日 令和7年2月14日～15日 ・内容 (株)えがおと協力し体組成測定と健康相談を実施          ⑤花畑健診に参加          ・開催日 令和7年2月22日～23日 ・内容 野菜摂取量測定と野菜セミナーを実施 ・参加者数 43人          ⑥野菜摂取量測定会&amp;野菜セミナーを開催          ・開催日 令和7年1月23日、2月19日、3月19日 ・参加者数 計28人</p>	R7継続	(公財)熊本県総合保健センター
<p>21 <b>職域での健康支援</b>          熊本市の事業所を対象に、体調改善・健康維持を目指し、食事のリズムや食事内容等についてセミナーや指導を実施。          ①特定保健指導(積極的支援及び動機づけ支援) 1,602件          ②健診事後指導 59件          ③セミナー 62事業所(内容:生活習慣病予防、バランスの良い食事、時間栄養学、ストレス対策など)          ④食事・運動・禁煙・睡眠についての情報提供資料を健診結果に同封。</p>	R7継続	(公財)熊本県総合保健センター
<p>22 <b>食育に関する図書館展示</b>          季節ごとにテーマを決め、図書館に食育コーナーを設置。          ・年4回</p>	R7継続	熊本県立大学
<p>23 <b>公開講演会(環境共生フォーラム、食育・健康フェスティバル)</b>          熊本県内の高校生及び地域住民を対象とし、テーマ「発酵×フランス」と題し、環境共生フォーラム及び食育・健康フェスティバルを開催。          ・開催月 11月 ・参加人数 フォーラム来場者 延べ110人 フェスティバル来場者数 延べ150人          ・内容 「発酵×フランス」をテーマに、近年の食育活動の取組を盛り込んだ弁当を販売や食育活動紹介ポスター掲示、学生と県内各地の農家等によるワークショップやミニマルシェも開催。</p>	R7継続	熊本県立大学

II 健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

\*令和4年度実績値

施策の方向性	(1) 健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信			R5	R6	R17
				基準値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑥	企業、大学等での食育に関する講座の開催件数		*3件	17件	40件
	⑧	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上		77.7%	—	85%
		ほぼ毎日食べている市民の割合	若い世代【20,30歳代】	74.6%	74.6%	—
	⑨	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合		60.7%	—	75%
⑩	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に		31.8%	—	50%	
	気をつけた食生活を実践している市民の割合	若い世代【20,30歳代】	23.4%	23.4%	—	30%
取り組むべき 施策	9) 「食事バランスガイド」等を活用した食生活への支援					
	10) 健全な食生活の実践や、生活習慣病予防等についての啓発					

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	7件 161人	7件 238人	野菜摂取の大切さ等働きざかり世代へ食生活に関する講座を実施	40件	40件	各区保健 子ども課 健康づくり 推進課
2	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	11件 445人	10件 694人	食事のバランスや、女性のやせの問題等食生活に関する講座を実施			各区保健 子ども課 健康づくり 推進課
3	■検証指標に準じる指標	健康のために実行していること—1日2回以上野菜を食べる(総合計画アンケート)	47.8%	48.2%		—	—	健康づくり 推進課
4	■検証指標に準じる指標	健康のために実行していること—米を中心とした栄養バランスの優れた「日本型食生活」を心がけている。(総合計画アンケート)	44.1%	46.1%		—	—	健康づくり 推進課
5	■検証指標に準じる指標	健康のために実行していること—体重調整に心がけている(総合計画アンケート)	47.8%	46.1%		—	—	健康づくり 推進課
6	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き、食をテーマにした講話や実習等を行う。	66回	81回	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き、食をテーマにした講話や実習等を行った。	継続実施	継続実施	生涯学習課
7	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施(評価指数: 肥満度20%以上の児童の割合)	11.4%	11.6%	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施(評価指数: 肥満度20%以上の児童の割合)	減少	減少	健康教育課
8	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す。	健康手帳 使用者数 1,426人	健康手帳 使用者数 1,378人	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す。	継続実施	継続実施	健康教育課
9	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 55,951人	累計 57,274人	令和6年度のテーマである「便秘予防」について献立の普及及び講話、調理実習等を実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり 推進課 各区保健 子ども課

10	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る。	啓発数 2,010人	啓発数 1,758人	幼児健診及びイベント等にて啓発	継続実施	継続実施	健康づくり 推進課 各区保健 こども課
11	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る。	啓発数 11,963人	啓発数 12,172人	幼児健診及びイベント等にて啓発	継続実施	継続実施	健康づくり 推進課 各区保健 こども課
12	健康教育 (40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加者数 5,471人	参加者数 6,894人	糖尿病予防教室や骨粗しょう症予防教室等を実施した。	継続実施	継続実施	各区保健 こども課
13	健康相談 (40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加者数 1,303人	参加者数 1,820人	個人の生活習慣や食習慣に応じた個別相談を実施	継続実施	継続実施	各区保健 こども課
14	生活習慣病重症化予防対策 (特定健診)	特定健康診査の結果より、生活習慣病重症化予防のため、受診勧奨値レベルにある者(血圧、血糖、腎機能)へ通知、電話や訪問等を通じて、受診勧奨および生活習慣改善のため、食生活や運動習慣などの改善を促していく。	対象者数 1,790人	対象者数 2,207人	特定健診の結果から、高血圧・糖尿病・慢性腎臓病の受診勧奨基準対象者へ国保年金課で通知発送し、区役所と連携して訪問や電話による受診勧奨、生活習慣改善の栄養・保健指導を実施した。	継続実施	継続実施	国保年金課 各区保健 こども課
15	後期高齢者健診生活習慣病重症化予防対策	後期高齢者健診の結果より、生活習慣病重症化予防のため、受診勧奨値レベルにある(血圧、血糖、腎機能)へ、電話や訪問等を通じて、受診勧奨および生活習慣改善のため、食生活や運動習慣などの改善を促していく。	対象者数 1,488人	対象者数 1,395人	後期高齢者健診の結果から、高血圧・糖尿病・慢性腎臓病の受診勧奨基準対象者へ通知、訪問、電話による受診勧奨、フレイル予防の栄養・保健指導を実施した。	継続実施	継続実施	国保年金課
16	フレイル予防対策事業	また、貧血項目に着目し、フレイル予防として低栄養の改善と骨折予防のための訪問等で保健指導を実施する。	対象者数 38人	対象者数 266人	後期高齢者健診の結果から、貧血の基準対象者へ通知、訪問、電話による栄養・保健指導を実施した。	継続実施	継続実施	国保年金課
17	フレイル予防対策事業(短期集中予防サービス栄養改善プログラム勸奨)	後期高齢者健診の結果より、短期集中予防サービス該当者へ勸奨を行う。	対象者数 130人	対象者数 133人	後期高齢者健診の結果から短期集中予防サービス(栄養)の対象者に通知による利用勧奨を行った。	継続実施	継続実施	国保年金課
18	【再掲 I-(3)】 健康教室(一体的実施事業)	フレイル予防のための健康教室を実施 体力測定や質問を活用し、フレイル状態の把握する機会とし、フレイル予防に関する健康教室を実施	45箇所	63箇所	体力測定・健康講話を2回コースで実施した。健康講話では栄養のフレイル予防についての説明を行った。	継続実施	継続実施	国保年金課
19	特定保健指導	特定保健指導を通じて、生活習慣の改善に取り組む。 (特定保健指導減少率)	令和4年度 法定報告値 17.0%	令和5年度 法定報告値 17.9%	委託・直営で特定保健指導を実施し、生活習慣改善の支援を実施した。	18.0%	25%	国保年金課
20	適正体重の維持についての啓発	適正体重を知りそれを維持することの重要性について、チラシ等を媒体として、若い女性のやせ等予防の啓発を行い、ライフコースに応じた適切な確な情報提供を行う。	実施	実施	イベント等にて啓発	継続実施	継続実施	健康づくり 推進課 各区保健 こども課

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
1 加入者への特定保健指導・健康相談等の中で食事指導を行った。 特定保健指導実績・被保険者 14,150人 ・被扶養者 280人 合計 14,430人(実施率 37.6%)	R7継続 全国健康保険協会 熊本支部

<p>2 特定健康診査・後期高齢者健診の受検者を対象にし、食習慣改善等の支援を実施</p> <p>①特定保健指導(積極的支援及び動機付け支援) 289件  ②健診結果説明会(植木町、城南町) 503人  ③健康相談・栄養指導 電話34件  ④食事・運動・禁煙・睡眠について情報提供資料を健診結果に同封  テーマ「めざせ!5つ星 健康寿命をのばすスマートライフ!」</p>	R7継続	(公財)熊本県総合保健センター
---	------	-----------------

令和7年度新規事業

	主な取組	取組概要	取組内容	R11目標値	R17目標値	担当課
新	デジタルデバイスを活用した生活習慣病重症化予防事業	ウェアラブル機器とアプリケーションを活用し、糖尿病等の生活習慣病の重症化を予防する。	糖尿病の治療域にある者を対象とし、持続血糖測定器による食事等の血糖値の変動やウェアラブル機器から得られた情報、本人の心拍数等をアプリケーションと連携させ、PHRとして可視化し、保健指導を実施するとともにアプリケーションで健康や生活習慣改善の情報発信により、糖尿病の重症化を予防する。	継続実施	継続実施	国保年金課

II 健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

\*令和4年度実績値

施策の方向性		(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育の推進に関するボランティア数	*997人	1,034人	1,200人
取り組むべき施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と連携強化 12) 食生活改善推進員等、地域支援者の養成と育成				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	● 検証指標	食育の推進に関するボランティア数 (食生活改善推進員協議会+8020健康づくりの会の会員数)	989人	1,034人	・令和6年度食生活改善推進員協議会会員数513人 ・令和6年度8020健康づくりの会会員数521人	—	1,200人	健康づくり推進課
2	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 34人	受入数 42人	座学に加え、幼児健診の見学や調理実習への参加	継続実施	継続実施	各区保健こども課
3		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 29	受入数 27	管理栄養士等の実習生受入	継続実施	継続実施	健康教育課
4	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 6	受入数 3	栄養教諭の実習生受入	継続実施	継続実施	指導課 健康教育課
5	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	開催数 2回	参加者数:227人 (会場:60人 オンライン:167人)	2回	2回	食品保健課
6	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者 137人	参加者 137人	・学校の食育推進について ・健康教育部と連携した給食委員会の取組みによる食育の推進について	継続実施	継続実施	健康教育課
7	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者 70人	参加者 70人	個別的な相談指導について	継続実施	継続実施	健康教育課
8	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取り組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る。	1回 167人	1回 49人	障がい児(者)施設における歯科検(健)診の重要性について研修会を実施	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
9	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 66人	養成数 74人	養成講座を5区役所で実施した。	100人 (20人×5区)	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健こども課
10	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	49回 1,668人	45回 1,380人	ボランティア活動に必要な知識と技術を習得するため、研修会を実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
11	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う。	年間 3,917件	年間 2,359件	役員会等での助言や電話・来所相談を行う等により、ボランティア活動を支援した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

12	8020推進員養成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの養成	養成数 107人	養成数 100人	8020推進員養成講座を5区役所で開催した。	100人 (20人×5区)	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健 こども課
----	-------------	------------------------	-------------	-------------	------------------------	------------------	------------------	--------------------------

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況		関係団体・機関名
1	<b>尚綱学食レシピコンテスト</b> テーマ「尚綱ガールズ 鶏むね肉レシピコンテスト」 ・鶏むね肉を使ったオリジナル料理(主食もしくは主菜)+1品(サラダ、スープなど) ・学生応募総数 171点 ・優秀作品4品を学食で提供	R7継続 尚綱大学
2	<b>尚綱乳幼児食育研究会</b> 乳幼児の食に関する課題や保育現場での食育活動、給食管理(食物アレルギー対応、衛生管理等)の課題を解決していくために、県内の保育所等の関係者(主に給食担当者)が集って、研修を行った。 ・開催回数 5回	R7継続 尚綱大学
3	<b>尚綱食育推進シンポジウム</b> 「子どもの未来を拓く保育・食育を目指して～保護者とともにチームで取り組む食育～」をテーマに、基調講演・研究報告・事例発表をハイブリッド方式で行った。 ・開催日 令和7年1月19日(日) ・参加者 県内保育施設、学校及び行政関係者 約120人	R7継続 尚綱大学
4	<b>熊本市保育園連盟 給食部会研修会</b> 食育の知識を深めるため、保育に携わる食育を対象とした食育実践研修会を実施。 ・開催日 令和6年12月5日 ・演題「一人ひとりの子どもたちと一緒に楽しむ食育と食事」 ・講師 上越教育大学大学院 野口 孝則 氏 ・参加者数 73人	R7継続 (一社)熊本市保育園連盟
5	<b>食育の推進及び施設内での情報共有</b> 各園、給食や弁当をはじめ食育につながる活動を推進した。栽培活動にも力を入れている。 また、健康づくり推進課の研修に参加し、設置者や園長会で得た情報を共有した。	R7継続 熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
6	<b>市主催事業への協力</b> 5区役所で開催された食生活改善推進員養成講座の中で、交流会に参加し、受講者に対し活動についての話をするなど養成に協力した。	R7継続 熊本市食生活改善推進員協議会
7	<b>自己学習</b> 食に関するボランティアとして身に付けることが必要な知識について、研修会等に参加し自己研鑽を行った。 ・21,692回	R7継続 熊本市食生活改善推進員協議会
8	<b>たべラボランチタイムミーティング</b> 食育を主体的に実施する学部横断的グループ「たべラボ」メンバーを対象に、熊本の食の魅力探しワークショップなどを行った。 ・前学期・後学期 毎週火・水曜日12:10～12:40(30分間) 全31回	R7継続 熊本県立大学
9	<b>食育の日</b> 規格外野菜、郷土料理伝承、地域おこしのような学生グループのコラボ企画など、熊本県の食材を使い、本学学生が考えたメニューで学食を提供。学生へレシピ提供や食・栄養に関する情報提供を同時に実施した。 ・毎月1回食育の日 全8回(毎月150食)	R7継続 熊本県立大学
10	<b>くまもと食育ガイドブックの使用</b> くまもと食育ガイドブックを使用した講義を実施。 ・開催期間 令和6年10月～令和7年1月 ・参加者数 47人	R7継続 熊本県立大学
11	<b>産地見学研修</b> 以下の4事業所を見学し、管理方法、取組や食材の大切さなどを学んだ。 ・矢野牧場、共栄精密㈱、㈱アスリー、釜田醸造所 ・研修日 令和6年11月6日	R7継続 (一社)全日本可厨士協会西日本

II 健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

施策の方向性		(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑫	スマートミール認証への支援店舗数	0店舗	2店舗	60店舗
取り組むべき施策	13) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進				
	14) 事業者に対する食育の普及と事業者からの発信				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	「スマートミール認証店」登録支援店舗数(新規)	0店舗	2店舗	学生食堂や市役所地下食堂へ支援をした。	30店舗	60店舗	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う。	支援事業者数 219件	支援事業者数 224件	6月の食育月間に野菜摂取量アップのための統一ポスターの掲示、レシピの店舗への配置等の啓発支援を実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
3	【再掲Ⅱ-(1)】 栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る。	啓発数 11,963人	啓発数 12,172人	幼児健診や健康教育の際に、統一チラシを用いて栄養成分表示の活用方法について啓発を実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う。	実施	実施	事業者からの問い合わせに対して随時技術的支援を実施した。	継続実施	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健こども課
5	利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加	学校、児童福祉施設、老人福祉施設等の特定給食施設に対し、管理栄養士・栄養士の配置を促す。 (管理栄養士を配置しなければならない病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く)	68.1%	82.3%	管理栄養士必置義務以外の特定給食施設のうち、栄養士未配置の施設に巡回調査で立入時、当該施設で適切に栄養管理を行うため、栄養士を配置するよう施設長へ促した。	75%	75%	食品保健課

III 市民運動としての食育の展開

施策の方向性		(1) 市民運動による食育運動の展開	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合【再掲】	88.2%	—	95%
取り組むべき施策	15)	食育に関する機運の醸成			
	16)	関係団体と連携した食育運動の展開			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る。	実施	実施	・啓発ちらし、ホームページ、ラジオ、LINE等で啓発。 ・市役所ロビーや各区役所等にてパネル展示やレシピ配付を実施。 ・毎月19日頃に市役所地下食堂レストラン亀井で、「食育の日特別メニュー」を販売し、完売。LINE等にて食育の日も含め周知。 ・毎月19日に副菜レシピをLINE、くまもの食ホームページに掲載。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健 こども課
2	市民食育講演会	食育をテーマにした講演会を開催し、市民の食育に関する機運の醸成と食育の重要性を広く周知する。	1回 117人	1回 86人	「次世代に伝えたい和食文化の魅力～美味しさ多彩さのルーツを探る～」をテーマとした講演会を実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
3	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者 実人数 908人	来場者 実人数 1,041人	楽しみながら健康づくりを身近に感じる場として、熊本市民健康フェスティバルを開催した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
4	ホームページ「くまもの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 100,593件	HPアクセス数 126,450件	食の安全安心の確保と、食育の推進について情報提供を実施した。	増加	増加	食品保健課 健康づくり 推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ、熊本市公式ホームページ、SNS等を使った市民への啓発	182回	210回	市政だより、ホームページ、ラジオの他、LINE等のSNSを活用した啓発も実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健 こども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診等について啓発	3回 1,198人	2回 517人	くまもと県民横丁等に出展し健康に関する啓発を実施	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民を対象にした食育に関する啓発	34人	32人	消費者教育の一環として、夏休み期間中の児童とその保護者を対象に、市場で学ぼう『おいしい魚・野菜・果物の流通について』をテーマにセミナーを実施	継続実施	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲Ⅱ-(2)】食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う。	年間 3,917件	年間 2,359件	役員会等での助言や電話・来所相談を行う等により、ボランティア活動を支援した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健 こども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 32,361件	活動件数 38,353件	こども、若者・働き世代、高齢者の健康・食生活の視点で地区組織活動を実施した。	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健 こども課

10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 1,762件	支援件数 2,128件	8020推進員が自主的かつ円滑に活動できるように、会議等での助言や、相談支援等を行った。	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健 こども課
----	-----------------	-------------------------	----------------	----------------	--	----	----	--------------------------

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

\*令和4年度実績値

施策の方向性		(2)食育支援団体のネットワークの整備	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑬	「熊本市こどもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	*22.7%	19.1%	70%
取り組むべき施策	15) 食育に関する機運の醸成				
	17) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	「熊本市こどもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	26.2%	19.1%	保育園・幼稚園等の施設、地域支援者と連携・協力し、それぞれの専門性を生かした地域におけるこどもとその保護者のための食育活動を展開した。	-	70%	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	■検証指標に準じる指標	熊本市こどもの食育推進ネットワークの加入団体数(こどもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開)	加入団体 427団体	加入団体 428団体	加入団体 ・保育園、認定こども園、幼稚園等の保育施設 ・子育て支援センター ・熊本県栄養士会 ・小学校 ・熊本市民生委員児童委員協議会 ・熊本市食生活改善推進員協議会	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健こども課
3	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する。	開催数 7回	開催数 2回	健康くまもと21推進会議1回、食の安全安心・食育部会1回をハイブリッド形式で開催した。	2回	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
4	熊本市こどもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	2回 297施設、 462人参加	2回 273施設、 407人参加	・第1回講演会「食物アレルギー対応給食について」講師：別府大学 教授 高松伸枝氏 ・第2回事例報告と意見交換会 事例報告：かわりこども園、大同スマイル保育園	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
5	熊本市こどもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	15回 408人(施設)	15回 543人(施設)	事例報告やグループワーク、調理実習等を実施した。	継続実施	継続実施	各区保健こども課

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
1 こどもの食育推進ネットワークでの活動 ・こどもの食育推進ネットワーク 全体研修会1回、実務者会議2回出席 ・区開催ネットワーク 各委員参加 ・子育てサークルやふれあい・いきいきサロン、地域の行事など住民の集う場所において健康チェックや情報提供を行った。	R7継続 熊本市民生委員児童委員協議会

III 市民運動としての食育の展開

\*令和4年度実績値

施策の方向性	(3)新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進	R5	R6	R17
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑭ デジタル技術を活用した食育情報発信の件数	*103件	182件	150件
取り組むべき施策	18) SNS等、デジタル技術を活用した食育の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	デジタル技術を活用した情報発信の件数	151件	182件	LINE等によるSNSやレシビ動画等にて情報発信した。	増加	150件	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	【再掲Ⅲ-(1)】 ホームページ「くまもの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 100,593件	HPアクセス数 126,450件	食の安全安心の確保と食育の推進に関する情報提供を行った。	増加	増加	食品保健課 健康づくり推進課
3	食のホームページ、熊本市(区)ホームページでの「食」に関する情報提供	食育の推進に関する情報提供	68回	58回	食育の推進に関する情報提供を行った。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
4	食に関する教室や研修会のオンライン開催	市民や事業者等を対象に食に関する教室や研修会をオンライン(対面との併用も含む)で開催	11回	7回	離乳食教室や郷土料理教室等を実施	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
7	【再掲Ⅰ-(1)】 結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	実施	子育て支援に関する各種制度やイベント情報等の掲載	継続実施	継続実施	こども政策課
5	【再掲Ⅳ-(2)】 SNSを活用した熊本市農水産物のPR	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信	実施	実施	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信した。	継続実施	継続実施	農業政策課

IV 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(1)生産者と消費者の交流促進	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑮	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.3%	—	50%
	⑯	生産者との交流活動を実施した学校の割合	—	32%	50%
取り組むべき 施策		19) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進			
		20) 生産者と消費者の交流会の開催			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	生産者との交流活動を実施した学校の割合(新規)	20%	32%	授業・まるくまデー、ひごまるデーでの生産者との取組	50%	50%	健康教育課
2	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る。	開催数 4回	開催数 3回	「まるくまデー」に合わせて、地元生産者との給食交流学習を実施した。	継続実施	継続実施	健康教育課
3	すこやか交流広場管理運営事業	こども農園の貸付や農園ボランティアによる栽培指導を実施し、世代間交流を促進	70%	70%	こども農園の貸付や農園ボランティアによる栽培指導を実施し、世代間交流を促進	100%	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する。	100%	100%	校内外の田畑やプランターを利用した野菜、米等の栽培・収穫体験を行った。	100%	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	出前授業を通じ、本市水産業の紹介や漁協等が主催する干潟体験等を支援	3	5	小学校への出前授業や公民館主催の公開講座への講師派遣を行い、本市水産業の紹介を行った。	6	—	水産振興センター
6	【再掲 I-(2)】 保育所・幼稚園等での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	94.0%	94.2%	・園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供、クッキング体験等を実施	100%	100%	保育幼稚園課 指導課

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
1 尚綱食育の日 お魚の日 天草地区漁業士会と連携した食育イベント ・天草さくら鯛を使った料理の提供、天草の魚や漁業士会の活動をPRするポスター等の掲示、天草の郷土料理や魚介類に関するアンケートの実施 ・開催日 6月19日、11月7日 ・鯛めし、あおさ汁、がね揚げの特別メニューを学食で販売し、すぐに完売した。	R7継続 尚綱大学
2 くだものフェスタ 熊本県果樹生産振興対策本部と連携し、果物の見直しと食生活への定着を目的に、県産果物の周知活動を行った。 ・開催日 令和6年11月21日 ・内容 県産みかんの試食、ベジチェック体験、パネル展示及びアンケートを実施	R7継続 尚綱大学
3 市場見学対応等 食育の一環として、田崎市場に対する理解を深めてもらうため、各団体からの市場見学やマスコミ取材に対応した。 ・市場見学 25件468人 ・取材対応 16件	R7継続 (株)熊本地方卸売市場
4 田崎市場感謝祭(主催:市場連合会) 熊本地方卸売市場(田崎市場)の水産せり場を主会場として、市場内を一般開放し、水産物や青果物を消費者に直接販売。併せて各種イベントを開催し、地産地消や食の安全安心に関する理解を深めてもらった。 ・開催日 令和6年12月8日 ・来場者数 5万人 ・内容 マグロ解体実演販売、模擬せり(水産・青果)、サンマ炭火焼き 他67事業者による出店	R7継続 (株)熊本地方卸売市場

<p>5 <b>あぐりキッズスクール</b>          農業の果たす役割を伝え、「食」と「農」との目に見えない強い繋がりを学んでもらうことを目的に開催した。          ・参加者数 市内小学3～6年生の親子 20組(スクール生26人、保護者32人)          ・内容 野菜選果場や柑橘選果施設見学、田植え体験、熊本農業高校での体験学習、農業大学校での体験学習等</p>	R7継続	熊本市農業協同組合
<p>6 <b>伝統野菜の継承等</b>          伝統野菜の継承や主食であるお米の大切さを伝えることを目的に栽培から収穫までの巡回し、指導を行った。          ・小学校 4校            ①米:播種、田植え、稲刈り(武蔵小、尾ノ上小) ②米の一生について[座学](大江小、白山小)            ③春日ぼうぶら苗:贈呈、定植指導(白山小)          ・こども食堂 1か所 ①米:播種、稲刈り(楡木こども食堂)</p>	R7継続	熊本市農業協同組合
<p>7 <b>小・中学校及び福祉施設等へ熊本市産ノリを提供</b>          市内の小学校に熊本市産焼海苔を提供し、漁業後継者から代表クラスの児童へ紙芝居形式、校内放送、タブレット表示形式でノリについてのPRを実施。          ・市内小学校 3校 対象児童数 1,607人</p>	R7継続	熊本市漁業後継者クラブ

IV 持続可能な食を支える食育の推進

\*令和4年度実績値

施策の方向性	(2) 地産地消の促進	R5	R6	R17
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑰ 進んで地元農産物を購入する市民の割合	59.6%	—	80%
	⑱ 市内における農産物直売所の販売額	*7.2億円	8.2億円	増加
	⑲ 学校給食における地元農産物の使用割合	*39.1%	37.4%	43%
取り組むべき施策	21) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進			
	22) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	市内における農産物直売所の販売額	7.8億円	8.2億円	直売所の認知度向上とともに出荷量や品質の確保を進めながら、集客数・販売数の増加を図った。	—	増加	農水ブランド戦略室
2	●検証指標	学校給食における地元農産物の使用割合 毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	市産品率 38.8%	市産品率 37.4%	ひごまるデーやまるくまデー等の市産農産物を活用した献立を作成し実施した。	市産品率 43%	継続実施	健康教育課
3	給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	継続実施	保育幼稚園課
4	農産物直売所支援	熊本市農産物直売所連絡協議会への情報提供や総会の開催を通じて、直売所間の連携を強化し、直売所全体での販売促進を図る。	実施	実施	熊本市農産物直売所連絡協議会総会を開催し、各種情報提供を図った。	継続実施	継続実施	農水ブランド戦略室
5	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信	実施	実施	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信した。	継続実施	継続実施	農業政策課
6	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	開催数 6回	開催数 5回	じゃがいも、ピーマン、京菜、いちご、すいかの圃場視察を行った。	継続実施	継続実施	健康教育課
7	地産地消フェアの開催	地産地消フェアを開催し、生産者と消費者が交流する機会を創出し、地産地消を推進する。	実施	実施	対面式での地産地消フェアを11月、12月及び2月の各月2日、計6日間実施した。	継続実施	継続実施	農水ブランド戦略室
8	学校給食を軸とした食育プロジェクト「まるごと くまもと ありがとうのひ」給食	市産品を活用した給食「ひごまるデー」を發展させた、地元食材が主役の給食を実施。あわせて、生産者との交流及び取組の市民への啓発	実施	実施	熊本県・市産品100%で作る学校給食の提供に合わせて、小学校3校(大江小、白山小、植木小)において、生産者との交流学習を行った。	継続実施	継続実施	健康教育課 農水ブランド戦略室 健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
1 牛乳消費拡大事業 調理実習を西区で開催 ・開催日 令和6年11月10日 ・参加者数 10人	R7継続 熊本市食生活改善推進員協議会
2 料理教室 消費拡大・食育の推進を目的として、野菜や魚を使った料理教室を開催。 ・実施期間 令和6年6月～令和7年2月に8回 ・参加者数 計65人	R7継続 (株)熊本地方卸売市場

<p><b>3 熊本県魚食普及推進協議会</b>          団体・行政等が一体となって魚介類の消費拡大を図るために魚食普及活動を推進することを目的として、主に、市・町と連携したおさかな料理教室の実施や、シーフード料理コンクールの周知を行った。          ・内容 熊本市の施設や学校等11か所 19回</p>	R7継続	熊本県漁業協同組合連 合会
---	------	------------------

IV 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(3)くまもとの食文化の伝承	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	㊸	家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合	59.1%	—	80%
取り組むべき施策	23) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の促進				
	24) 関係団体との連携による食文化の伝承活動の推進				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」や熊本市ホームページに掲載し発信	実施	実施	ホームページ「くまもとの食」を改修を行い、郷土料理のレシピなどをスマートフォンから閲覧しやすくした。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	実施	給食だけで家庭・学校へレシピの紹介等	継続実施	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施 小学校数 100%	実施 小学校数 100%	味の旅給食(味めぐり・城めぐり)	実施 小学校数 100%	継続実施	健康教育課
4		郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う。	実施	実施	だご汁やタイピーエンを献立に取り入れ、食育だよりで郷土料理について啓発を行った。	実施	継続実施	保育幼稚園課
5	保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	団子汁会等郷土食の伝承を目的とした住民との交流会を実施。	実施	継続実施	保育幼稚園課
6	次世代に伝えたい、郷土料理「熊本のごはん」普及事業	郷土料理レシピ集「熊本のごはん」の普及、啓発を図り、「家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合の増加」を目指す。	10回 179人	6回 122人	親子料理教室やオンラインの料理教室にて、郷土料理に関する講話及び調理実習を実施	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健 こども課
7	いきなり団子プロジェクト	持続可能な食に貢献する熊本の郷土料理を調理実習やイベントでの啓発を通して次世代へ伝承する。	—	料理教室 20回 イベント 8回	・市内小中学校7校にて郷土料理の講話や調理実習を行った。 ・イベント啓発では郷土料理の展示や試食、郷土料理レシピ集「熊本のごはん」を配付し郷土料理の普及啓発を行った。	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健 こども課

《関係団体・機関》(抜粋)

取組状況	関係団体・機関名
<b>1 熊本の郷土料理啓発活動</b> 熊本の郷土料理について、パネル展示及び認知度調査を実施した。 ・開催期間 令和6年6月24日～6月28日 ・熊本に古くから伝わる郷土料理22品について、地区ごとに分けてパネル作成し、その認知度をオンラインアンケートで実施。	R7継続 尚絅大学
<b>2 いきなり団子プロジェクト</b> 「熊本のごはん」レシピ集を用い、小中学校での郷土料理教室や、イベントを通して郷土料理の普及啓発を行った。 ・料理教室20回 679人、イベント8回 1,103人	R7継続 熊本市食生活改善推進員協議会
<b>3 「熊本のごはん料理教室」郷土料理教室への支援</b> 熊本市が開催した、親子等を対象とした郷土料理教室に対して、講師として技術支援を行った。 ・オンライン郷土料理教室 1回 14人 ・各支部1回 参加者数 中央支部 31人 東支部 36人 西支部 21人 南支部 16人 北支部 22人	R7継続 熊本市食生活改善推進員協議会

<p>4 中学校、高校、大学等での郷土料理講習会の開催</p> <p>学校からの依頼を受け、郷土料理の講習会を開催した。</p> <p>・実施校及び参加者数</p> <p>西里小学校 50人 桜山中学校2年生 47人 力合中学校 213人  第二高校 2年生 48人、1年生 388人 千原台高校 146人 尚綱大学 25人</p>	R7継続	熊本市食生活改善推進員協議会
--	------	----------------

IV 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(4)食の循環や環境を意識した食育の推進	R5	R6	R17
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	㉑	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	77.2%	—	85%
	㉒	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	55.3%	—	60%
	㉓	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	81.3%	—	85%
取り組むべき施策	25) 食育を通じた環境保全				
	26) 環境保全体験を通じた食育活動の推進				

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R6実績値	R6の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	監視率 100%	測定計画に基づき地下水等の水質監視を行った。	100%	100%	水保全課
2	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する。	参加人数 20人	天候不良により中止	西原村の熊本市造林地にて、7月に下刈り、2月に植樹ボランティアを予定していたが、いずれも天候不良により開催中止となった。	参加人数 50人	—	水保全課
3	タブレットに対応した社会科副教材の制作	本市のごみ事情をやさしく解説した小学校4年生向けの社会科副教材をタブレットで受講できるようデータで提供する。	タブレットで受講できるよう教材をデータで教育センターに提供	タブレットで受講できるよう教材をデータで教育センターに提供した。	本市のごみ事情をやさしく解説した小学校4年生向けの社会科副教材をタブレットで受講できるようデータで提供した。	継続実施	継続実施	廃棄物計画課
4	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う。	1,540人	1,386人	環境保全に関する学習会を開催し市民啓発を行う。	—	増加	環境総合センター
5	「食品ロスゼロ協力店」制度の推進	食品ロス削減に取り組む飲食店等を協力店として登録し、紹介することで飲食店等及び利用者への意識啓発を行う。	実施	実施	食料品小売業を対象店舗に加えるなど、協力店制度を拡充し、「食品ロスゼロ協力店」制度として運用を開始した。登録店舗数:246店舗	継続実施	継続実施	事業ごみ対策課
6	保育所での食育媒体を活用した啓発	保育所の食育計画や毎月の献立に沿った食育媒体を作成し、保育の中で活用することで、食への感謝と食べ物を大切にすることを意識の啓発を行う。	実施	実施	食育媒体を活用し、食への感謝と食べ物を大切にすることの大切さについて啓発を行った。	継続実施	継続実施	保育幼稚園課
9	【再掲Ⅱ-(1)】すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 55,951人	累計 57,274人	令和6年度のテーマである「便秘予防」について献立の普及及び講話、調理実習等を実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

参加費無料

支援期間  
3 カ月

先着  
35 名

# 熊本市 糖尿病重症化 予防プログラムのご案内

本プログラムではスマートウォッチなどのデジタル機器を活用し、医療専門職が生活習慣の改善をサポートします。  
また、専用アプリで食事や運動を記録することで、糖尿病の重症化や合併症の予防を目指します。

## 特典1 スマートウォッチ BSBAND または スマートリング Y4 Ring を選んで健康チェック!

3 か月間プログラムを継続した方へそのままプレゼント!

装着するだけで運動や  
睡眠を記録・管理できる

24 時間継続的に心拍数を測定し、  
睡眠の質や傾向を把握できます。



BSBAND



Y4 Ring



リングサイズ 8 号 or 10 号 ・ チラシ裏面にあるサイズ確認部分を切り取りサイズをお試しください。 ・ サイズ交換は致しかねますのでご了承ください。

## 特典2 装着するだけで簡単に 「血糖値が見れる」

### 血糖値測定器 Freestyle リブレ2の利用

初回面談時と 3 か月後に 24 時間 × 2 週間ずつ  
装着し、血糖値の変化を見ることができます。



## 特典3 アプリで簡単管理! 歩いた分だけお得!

### ポイントをゲット!

好きな電子マネーに交換可能!  
保健指導終了後もずっと使えます。



### 議題3 検証指標の変更について

本計画の進捗、達成状況を知るための指標として、各施策には検証指標を設定している。このたび、検証指標の根拠となる調査項目が廃止されたことから、下記の検証指標について項目内容の変更を予定している。

#### 1 変更箇所及び内容

##### 食育の推進

基本的施策	I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践	
施策の方向性	(1) 家庭における食育の推進	
検証指標 項目		
変更前	⑤朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、 他は「ほとんど食べない」の割合	幼児
		小学5年生
		中学2年生
		若い世代【20歳代, 30歳代】
		65歳以上
変更後	⑤朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、 他は「ほとんど食べない」の割合	幼児
		小学6年生
		中学3年生
		若い世代【20歳代, 30歳代】
		65歳以上

#### 2 変更の理由

これまで、熊本市の小・中学生の朝食の摂取状況は、熊本県体育保健課が実施していた「健康教育実態調査」の中の朝食の摂取状況調査項目を検証指標の根拠データとしていた。令和6年度から健康教育実態調査の朝食の摂取状況調査項目が廃止となったため、文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」の中で行われる朝食の摂取状況調査にて把握するものとなった。

この変更に伴い、全国学力・学習状況調査の対象である小学6年生及び中学3年生に統一するため、検証指標の項目を変更し、下記のとおり基準値、実績値及び目標値としたい。

##### ■検証指標項目

基本的施策	I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践	R5	R6	R17
施策の方向性	(1) 家庭における食育の推進	基準値	実績値	目標値
⑤朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、他は「ほとんど食べない」の割合	幼児	96.7%	—	100%
	小学6年生	1.7%	1.8%	0%
	中学3年生	2.6%	2.4%	0%
	若い世代【20歳代, 30歳代】	13.3%	—	10%以下
	65歳以上	2.3%	—	0%

参考)

調査名	実施主体	調査対象学年
健康教育実態調査	熊本県	小学5年生、中学2年生
全国学力・学習状況調査	文部科学省	小学6年生、中学3年生